

T-グッズ窓枠Bタイプ

取付説明書

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

●正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読み下さい。

■梱包明細書（注：Tブロックの施工はTブロック取付説明書〈取説コードB033〉を参照して下さい。）

① 窓枠Bタイプセット

名 称	員 数
窓枠本体	2
窓枠固定金具A	3
窓枠固定金具B	1
端部ふさぎ材	2
穴ふさぎ材	4
接着剤	1
クッション材	2
窓枠固定ネジ M4×14トラス	6
R形状切り抜き用台紙	1

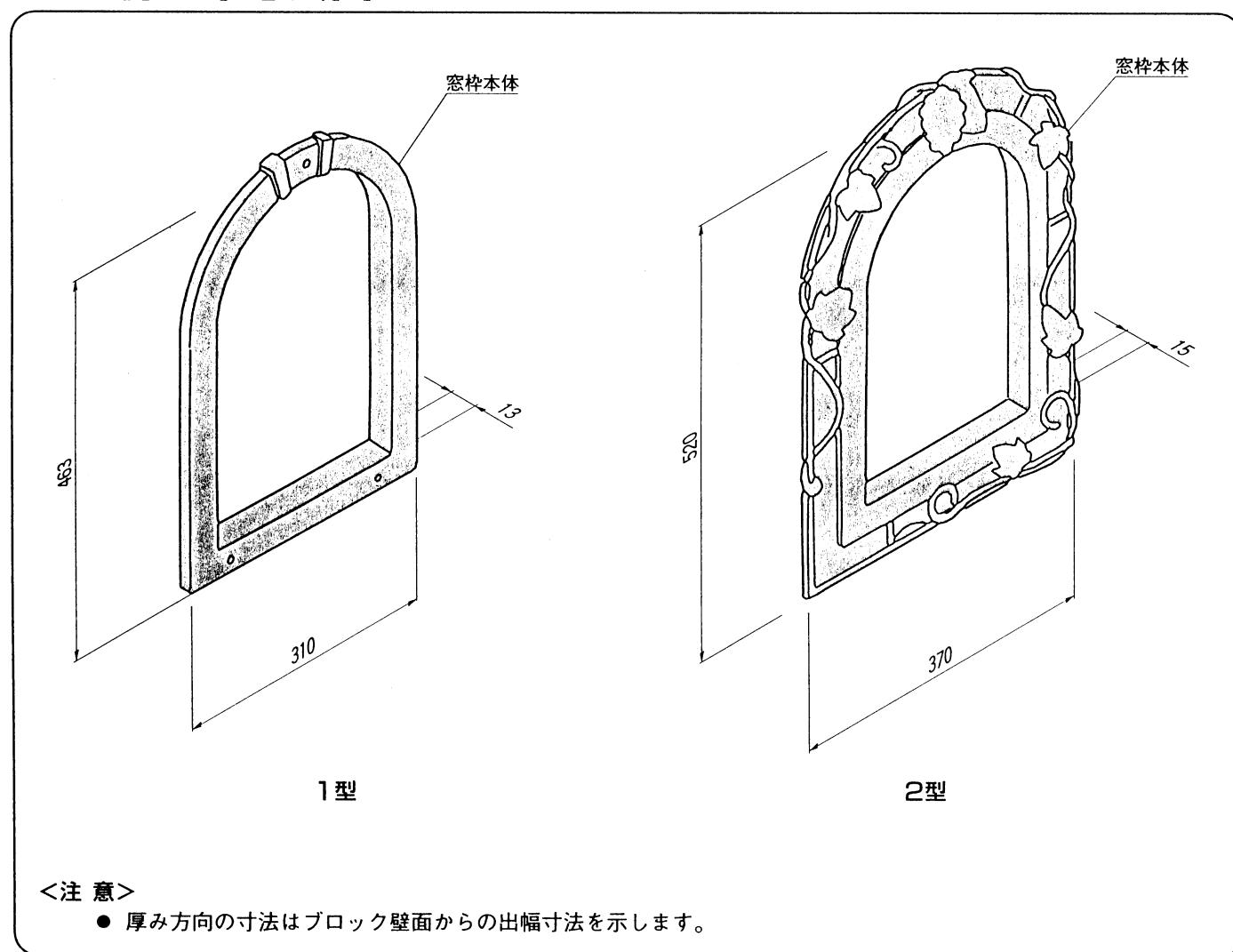
② 現場張り用モルタルセット

名 称	員 数
T-ブロック専用樹脂	1.1kg
T-ブロック専用セメント	10kg

③ 端部・笠木用ブリックセット

名 称	員 数
端部笠木用ブリック L=165	50

1. 窓枠基本寸法図



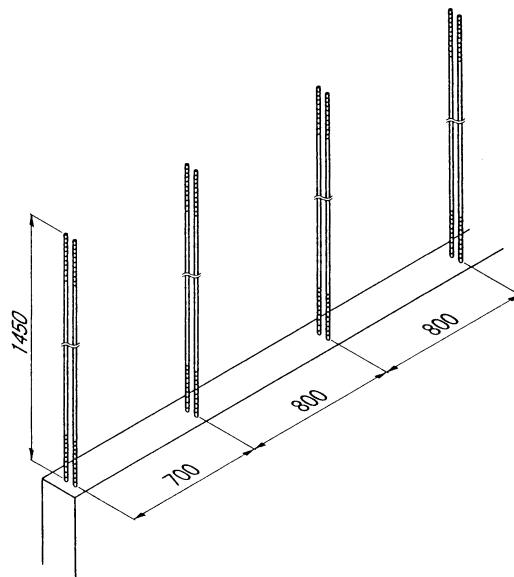
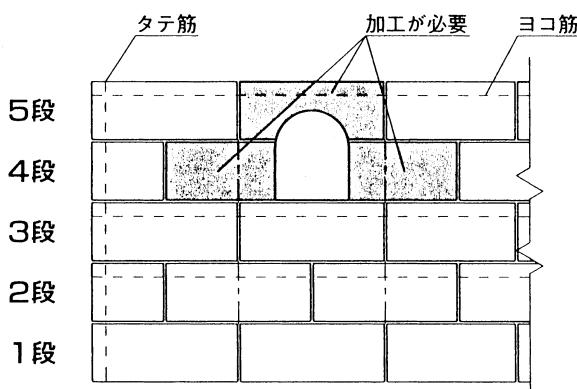
2. 施工の前に

<注意>

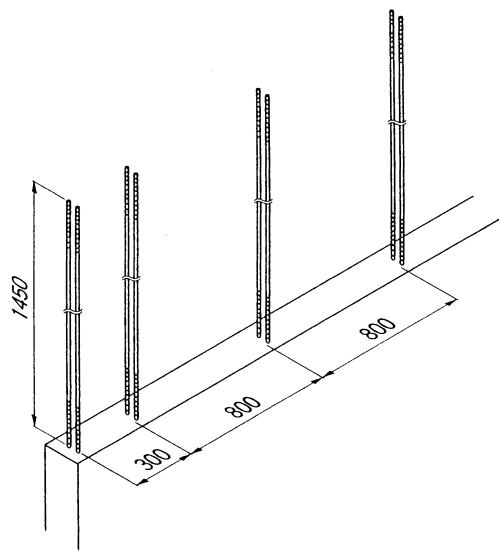
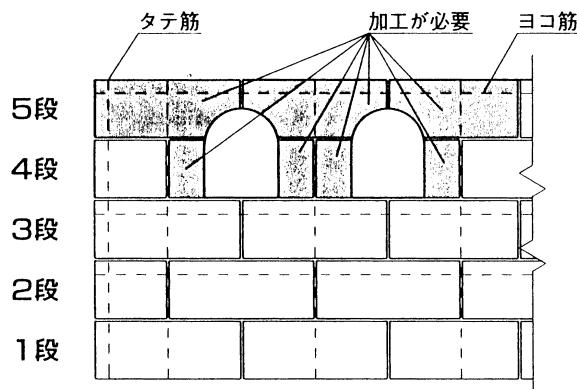
- 窓枠を取付ける仕様でのTーブロックの施工の場合は、通常の施工(Tーブロックの取付説明書・取説コードB033で指示している施工)の場合と比べ、タテ筋ピッチおよびヨコ筋配筋位置が異なっています。十分注意して施工して下さい。

- ① 窓枠を取付けるためには、ブロックを切断および加工が必要となります。
- ② 本施工の前にブロックを仮組みし、窓枠が取付く位置を十分確認して下さい。
- ③ 加工が必要なブロックを確認し、他ブロックと分けておいて下さい。

下図にタテ筋・ヨコ筋の配筋例を掲載します。参考にして下さい。



A



B

<注意>

- 上記以外の位置に窓枠が取付く場合、下記の要領に従ってタテ筋・ヨコ筋を配筋して下さい。

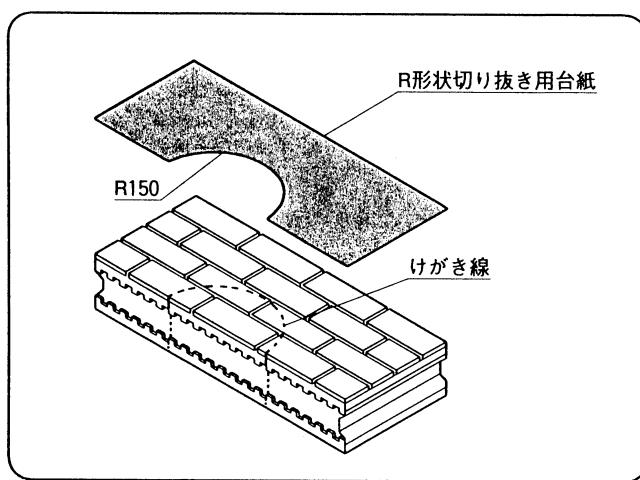
- ① タテ筋は800ピッチ以内になるようにして下さい。
- ② ヨコ筋は窓枠が入る段(通常は4段目)をさけ、連続して2段ブロックを積むうち、少なくとも1段に配筋して下さい。

<注意>

- Tーブロックの施工はあらかじめ施工図にて、ブロックの割付け、配筋、モルタル充てん箇所を確認して下さい。

3. 窓枠部分のブリック張り

③ ブロックの加工



- ① 仮組みをして、加工用として別に分けておいたブロックを用意して下さい。

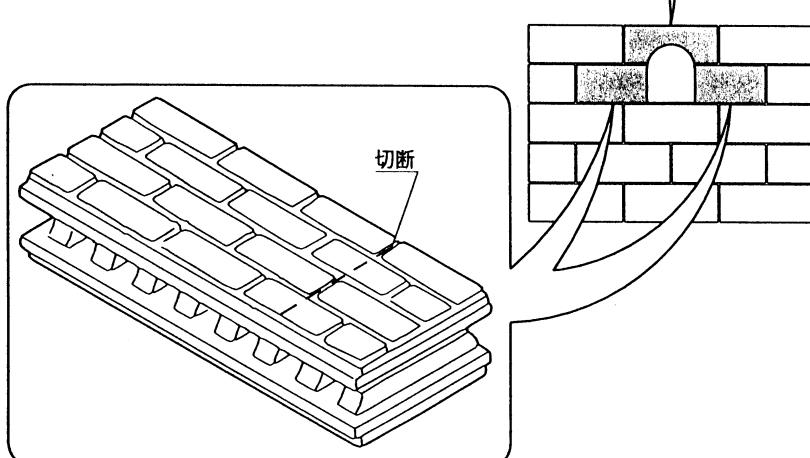
- ② 窓枠上部の半円状の加工をして下さい。

<注意>

- ブロックにR形状切り抜き用台紙をのせ、けがき線を入れて下さい。

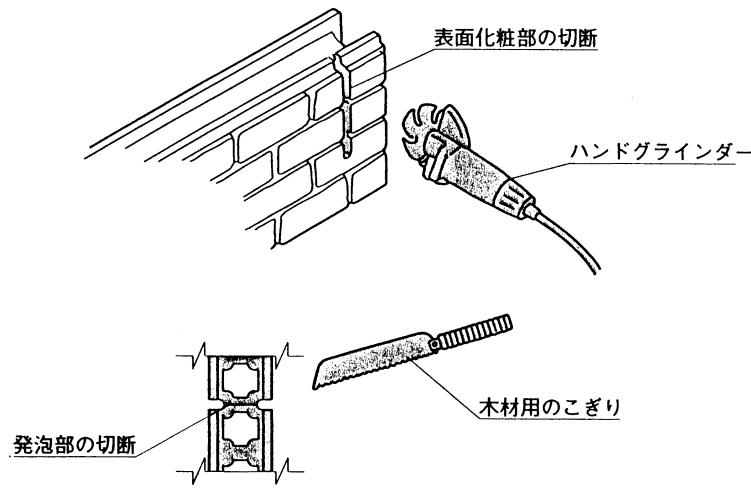
- ③ 同様に裏側にもけがき線を入れて下さい。

- ④ けがき線にそって加工して下さい。
(A図参照)



- ⑤ 窓枠の両サイドにくるブロックの幅の調整をして下さい。窓枠の開口幅は300mmです。その幅にあわせてカットして下さい。

ブロックの切断および加工は次のように行って下さい。



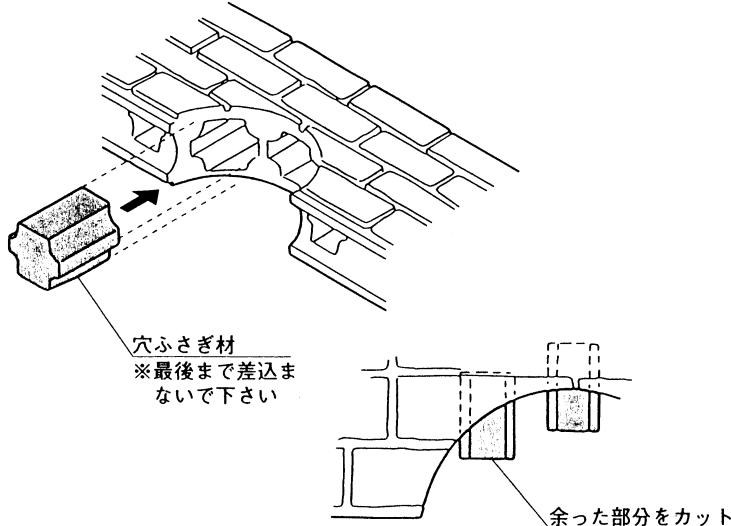
- ① 表面化粧部(ブリック+モルタル部)をハンドグラインダー等で表および裏側両方に切込みを入れます。

- ② ブロック内部の発泡部を木材用のこぎり等で切断し、切断面をカッター等で整えて下さい。

A図

3. つづき

3-2 ブリックの張り付け

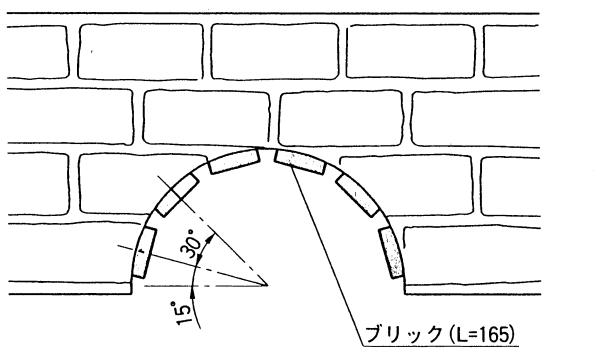


- R形状の加工をしたブロックの下部の穴をふさいで下さい。

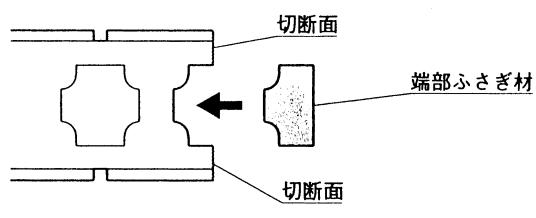
<注意>

- 穴ふさぎ材に接着剤を塗り、穴に差込込んで下さい。この時、穴ふさぎ材は半分位穴の外に残るぐらいに差込んで下さい。

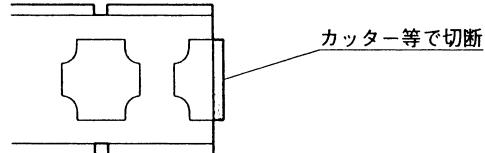
- Rの形状部からはみ出した部分をカッター等で切り取って下さい。



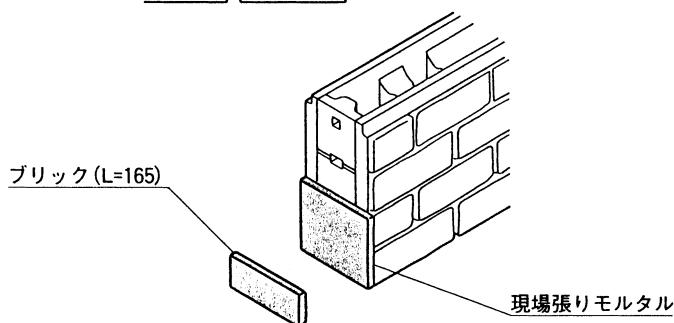
- 左図のような割付けでブリック(L=165)を現場張りモルタルで張って下さい。



- 次に幅の調整をし、切削したブロックの側面の穴に端部ふさぎ材を接着剤で貼り付けて下さい。



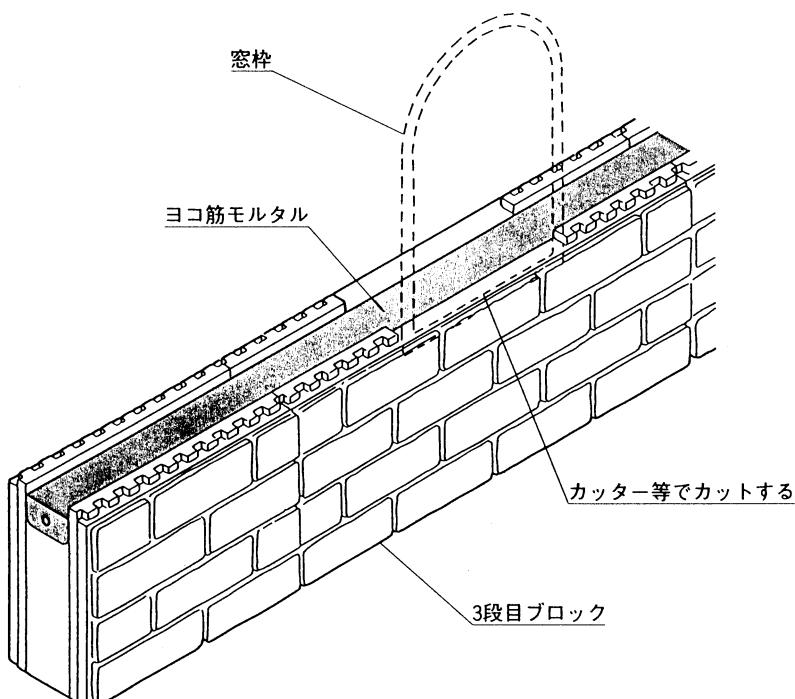
- ブロックの切断面からはみ出している場合にはカッター等で切削して下さい。



- 十分接着剤が硬化した事を確認した後、ブリック(L=165)をTーブロックの取付説明書(取説コードB033)に従って張り付けて下さい。

4. ブロックの施工

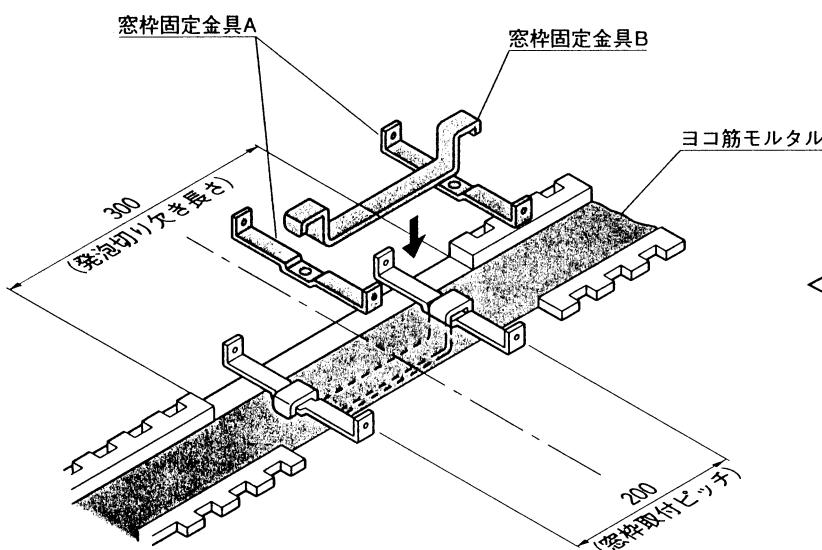
4-1 3段目までの施工



- ① 3段目までは通常のブロック施工方法と同様です。T-ブロックの取付説明書を参照して下さい。

- ② 窓枠を取付ける部分のブロック上部の凹凸部をカッター等でカットして下さい。

- ③ 2段目、3段目には、ヨコ筋を配筋しモルタルを充てんして下さい。また、窓枠を取付ける部分のモルタルは平にならして下さい。



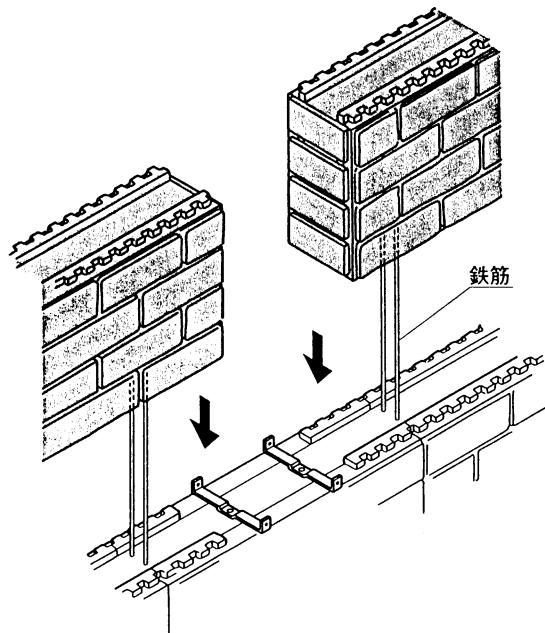
- ④ モルタルが硬化する前に、3段目のヨコ筋モルタルの中に窓枠固定金具を図のように埋込んでおきます。

<注意>

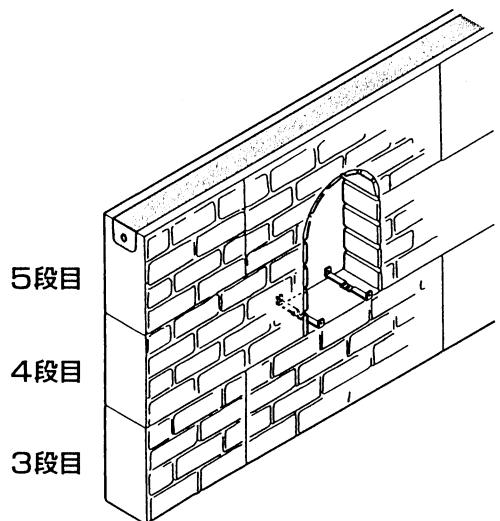
- 窓枠固定金具AおよびBをつけた状態でのモルタル塗りは金具の位置がずれないように十分注意して下さい。金具がずれますと、窓枠との穴位置があわなくなり、取付かなくなる事があります。

4. つづき

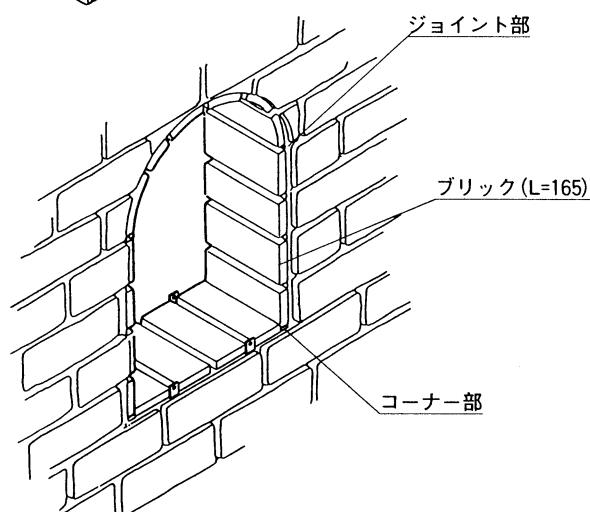
4-2 4段目・5段目の施工



- ① 「3. 窓枠部分のブリック張り」の項で幅方向の長さの調整をしたブロックをジョイント凹凸部にはめ込み、タテ筋部分にモルタルを充てんして下さい。

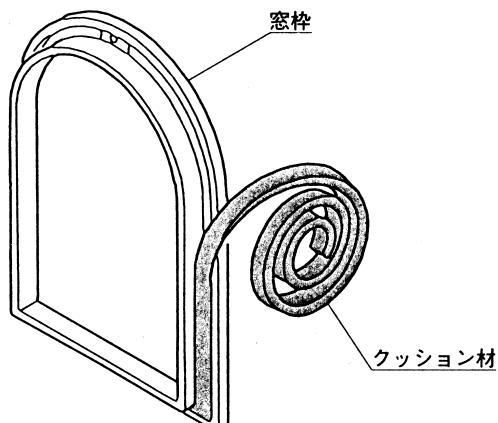


- ② 「3. 窓枠部分のブリック張り」の項で半円状加工をしたブロックをジョイント凹凸にあわせ、同様に施工して下さい。なお、5段目にはヨコ筋を配筋し、モルタルを充てんして下さい。

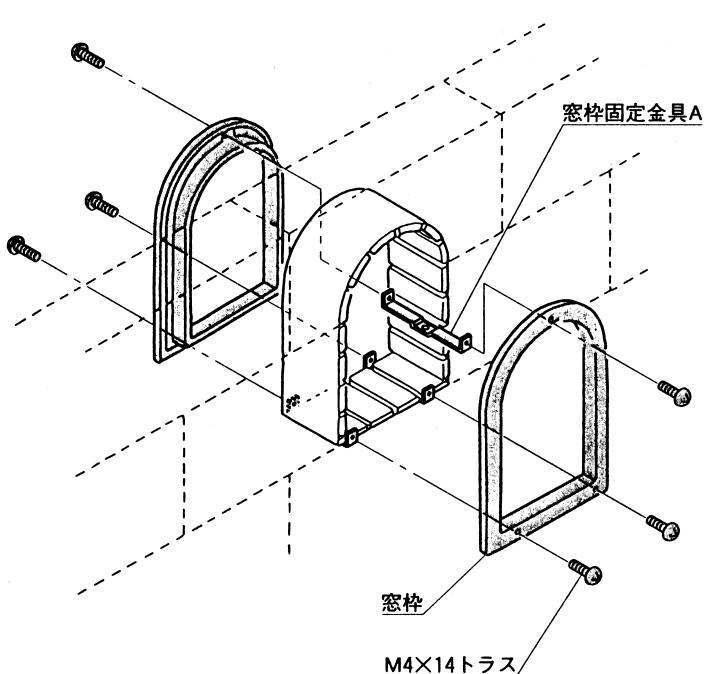


- ③ ブロック内部のモルタルが完全硬化した後、窓枠の下側の部分にブリック (L=165) をモルタルセットのモルタルで張り付け、またコーナー部およびジョイント部に隙間がある場合はモルタルで隙間を埋めて下さい。

5. 窓枠の取付け



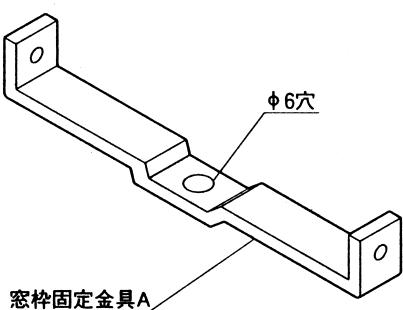
- ① 窓枠の裏のヘコミにあわせるようにして、クッション材を貼り付けて下さい。



- ② 窓枠固定金具Aを窓枠2枚(表裏)で、はさみ込んだ状態でM4×14トラスネジを用いて窓枠を固定して下さい。

<注 意>

- 窓枠固定金具Aには中心部にΦ6の穴があいています。これは、施工時ではまったく使用しません。吊り下げ式のプランター等を吊るすフックなどを取付ける穴です。



6. 注意事項とお願い

■施工上の注意

【1】運搬および保管

- 搬入や施工時の運搬は、カド打ちに注意して下さい。
- 発泡芯材は太陽光線のもとに長時間放置すると紫外線により表面が劣化する恐れがあります。
- 屋外で保管する場合は必ず養成シート等で覆って下さい。
- 発泡芯材部は、80°C以上になりますと融解しますので火気や高温熱源のない場所に保管して下さい。

【2】施工

- 充てんモルタルが硬化するまで添え木等で支え、ずれたり倒れたりしないように注意して下さい。
- 気温が5°C以下になる場合は施工を避けて下さい。
- 表面にモルタルが付着した場合は、速やかに柔らかいナイロンブラシ等で水洗いをして下さい。乾燥してからの酸洗いや金属ブラシでの清掃は、ブリック表面を傷めますので行なわないで下さい。
- はっ水材は弊社のオプション品か又は指定の市販品を使用して下さい。また、取扱いについてはそれぞれの取扱説明書をよくお読み下さい。
- 発泡芯材の化学的性質は一般に弱酸、アルカリ、塩類などに優れた抵抗性を持っていますが、アルコール以外の有機溶剤や石油類に侵される性質を持っていますので、それらが付着しないように注意して下さい。(例:有機溶剤系塗料、接着剤、有機溶剤系はっ水剤、灯油、ガソリン等)

■使用上の注意

- 年に2~3回の水洗いをして下さい。
- 清掃には金属性のブラシや金ベラは使用しないで下さい。表面を傷める恐れがありますので柔らかいナイロンブラシ等を使用して下さい。
- 汚れがひどい場合には、中性洗剤をうすめた液で汚れを落としたあと、洗剤が残らないようによく水洗いをして下さい。その際、近くの植栽に洗剤がかからないように注意して下さい。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤の使用は避けて下さい。表面を傷める恐れがあります。
- ブリックの主成分がセメント系であるため、内部や目地部分からカルシウム分が水分により溶けだし、表面に白いシミ(白華現象)ができる事があります。その場合は、柔らかいナイロンブラシ等で水洗いをして下さい。なお、酸や酸性洗剤を用いての酸洗いは表面を傷める恐れがありますので行なわないで下さい。
- 商品芯材部の発泡は難燃材を含んでいますので、微小火源では着火しにくくなっていますが80°C以上で融解する性質があります。火気や高温熱源を近づけないで下さい。

工事店様へ

- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡し下さい。

- 御使用いただきましてありがとうございました。次回も当社の製品を御使用下さい。

取扱コード

F107

97-03A

97-05B